

# 富士のさと わくわくキャンプ ②子ども編

平成 29 年 2 月 4 日 (金) ~ 2 月 5 日 (日) 1 泊 2 日

## ○目的

体験活動や基本的な生活習慣の重要性を、野外での体験活動を通して学ぶ。また、ボランティアが企画から携わり主体的に活動できる場を提供し、スキルアップを図る機会とする。



【運営に関わったスタッフと参加者】

## ○本事業の仕組み

当所で養成したボランティアを中心に子供対象のプログラムを企画、立案し、当日の運営をする。

## ○キャンプの企画立案

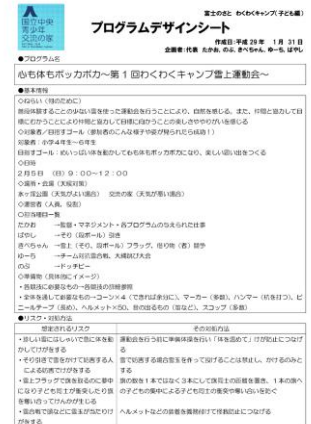
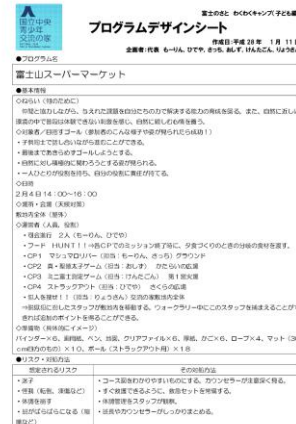
立候補のあった 20 名の企画メンバーを中心に企画立案を進めた。

各自に担当を割り振り、お互いにメール等で情報共有しながら、以下のことを行った。

- ・プログラムの選定、構成
- ・プログラムデザインシートの作成

※ねらいや手順、想定されるリスクと対応などを記載

- ・全体進行表の作成
- ・実地踏査の実施 等



【企画メンバーが作成した企画書の一部】

## ○キャンプ当日の運営

当日の運営は、実習生を含む総勢 37 名（ボランティア 29 名、社会教育実習生等 8 名）が担った。スタッフは前日から宿泊し準備や試作、最終的な打ち合わせをして参加者を出迎えた。今回の参加者は近隣 5 市町の小学 4~6 年生 33 名であった。

## 初日【2月4日(土)】



《はじめの会》

はじめまして。名前覚えてね！



《課題解決ウォークラリー》

協力して川を渡れ！！



《結果発表&表彰式》

班員とよく協力できました



《鳥野菜味噌鍋づくり》  
野菜はこの切り方で良いかな？



《羽釜でご飯を炊きます》  
火加減が難しいな、トホキ。



《楽しい食事タイム》  
スタッフも班の子と一緒に。

2日目 (2月5日 (日))



《雪上大運動会》  
チーム毎の作戦で臨みました。



《エアボードでの滑走体験》

勢いよく行くぞ～！



《おわりの会》  
班の代表から立派な感想。

《参加した子供の声》

- ・ お兄さんやお姉さんがやさしくしてくれたように、私も下級生にやさしく接したいです。本番のずっと前から楽しめる遊びを考えてくれてありがとう。
- ・ わくわくキャンプでみんなと団結する大切さを教えてくれてありがとうございました。
- ・ 新しい友達がたくさんできました。
- ・ このすてきなキャンプを考えてくれてありがとうございました。(その他、感謝の言葉がたくさん！)



○キャンプを終えて

《企画メンバーの感想》

- ・ 班員同士がまとまっていく姿や、上級生が下級生の面倒をみて共に成長する姿を見ることができてとても嬉しかった。
- ・ 全く何も無い状態から企画を作り上げていくことは難しかったが、とても楽しく、自分自身も成長することができた。
- ・ リスクマネジメントにあたり、実地踏査や事前の情報共有が重要であることを強く感じた。



《成果と課題》

9月の家族編にも参加したボランティアの参加があり、ステップアップ研修としての役割を十分に担っている。今後はさらに目的の違う事業への参加を促したり、さらなる自主企画事業を推進することでボランティアの成長に寄与していきたい。今年度は日程が学生ボランティアの試験期間と重なり、実地踏査や情報共有等の事前確認が不十分となってしまったため、次年度以降は日程改善の必要がある。